

「火災発生時の例文」の「やさしい日本語」表現（弘前大学社会言語学研究室・「やさしい日本語」研究会）【参考資料3】

2018年2月

場面	No.	例文	「やさしい日本語」	備考
火災発生時（感知器作動時）	1	火事を知らせるベルが鳴っています。	火事かもしれません。	ベルが鳴っているのが放送の聞き手にも聞こえている状態であると考えました。
	2	ただいま火災感知器が作動した場所を確認中です。	ほんとうに火事か 調べています。	1と連続したメッセージと考えました。
	3	ただいま〇階の火災感知器が作動しました。	〇階で 火事かもしれません。	
	4	係員が確認しております。	ほんとうに火事か 調べています。	「～しております」(謙譲語)は使いません
	5	次の放送にご注意ください。	少し待ってください。 なにかわかったら すぐ 知らせます。	「ご～ください」(尊敬語)は使いません
	6	新しいお知らせがあるときはすぐにお知らせします。	少し待ってください。 なにかわかったら すぐ 知らせます。	「お～します」(謙譲語)は使いません
	7	係員の指示に従って落ち着いて行動しましょう。	「〇〇の人」が言うことを よく聞いてください。	「～ましょう」を使わないで「～てください」を使います。
	8	施設からの次の放送を落ち着いて待ちましょう。	少し待ってください。 なにかわかったら すぐ 知らせます。	「〇〇の人」の部分は「ホテルの人」「店の人」「駅の人」「空港の人」など具体的に表現してください。
火災確認時（火災断定時）	9	火事です。	火事です。	
	10	〇階で火災が発生しました。	〇階で 火事です。	
	11	落ち着いて避難してください。	すぐ 逃げてください	「落ち着いて」は意味が広いため、「やさしい日本語」では状況に合わせて表現を変える必要があります。ここでは割愛しました。
	12	火災発生場所は離れています。すぐに影響はありません。	火事は ここでは ありません。ここは 安全です。	
避難時	13	係員が消火活動中です。	「〇〇の人」が 火を 消しています。	
	14	館内放送に従って避難して下さい。	お知らせを よく聞いてください。 お知らせの とおりに 逃げて ください。	
	15	館内放送に従い行動してください。	お知らせを よく聞いてください。 お知らせの とおりに して ください。	
	16	ここは危険です。避難する必要があります。	ここは あぶないです。すぐ 逃げて ください。	
	17	ただちに避難してください。	すぐ 逃げて ください。	
	18	避難階段で〇階へ逃げてください。	階段で 〇階へ 逃げて ください。	避難階段が屋外にある場合は「階段」を「外の階段」に変えます。
	19	避難階段を使って階下へ避難してください。	階段で 下へ 逃げて ください。	
	20	避難階段はこちらです。	階段は こっちです。／階段は ここです。	
	21	避難階段はあちらです。	階段は あっちです。／階段は あそこです。	
	22	こちらの階段から避難してください。	こっこの階段で 逃げて ください。／この階段で 逃げて ください。	「こちら」「あちら」は場所、方向の両方の意味を表し意味に曖昧性があるため、方向の場合は「こっち」「あっち」を使い、場所の場合は「ここ」「あそこ」を使ってください。
	23	あちらの階段から避難してください。	あっちの階段で 逃げて ください。／あの階段で 逃げて ください。	
	24	階段を使ってください。	階段で 逃げて ください。エレベーターに 乗らないで ください。	
25	避難口はあちらです。	出口は あっちです。／出口は あそこです。		

「火災発生時の例文」の「やさしい日本語」表現（弘前大学社会言語学研究室・「やさしい日本語」研究会）【参考資料3】

2018年2月

場面	No.	例文	「やさしい日本語」	備考
避難時	26	避難口はこちらです。	出口は こっちです。／出口は ここです。	
	27	ここから避難口まで約〇〇メートルです。	ここから 出口まで 〇〇メートルです。	
	28	低い姿勢で避難してください。	からだを 低くして 逃げてください。	
	29	タオルやハンカチで口をおさえてください。	タオルや ハンカチを 鼻と 口に つけてください。	
	30	ハンカチ等を鼻と口にあて、煙を吸い込まないよう姿勢を低くして避難してください。	煙を 吸わないでください。低いところは 煙が 少ないです。からだを 低くしてください。タオルや ハンカチを 鼻と 口に つけて 逃げてください。	
	31	煙から離れてください。	煙の多いところから 逃げてください。	
	32	余分なものは持たず、避難してください。	逃げるとき 荷物を 持たないでください。	
	33	足元に気を付けてください。	下を よく見てください。すべらないように 気をつけてください。	「落ち着いて」は、状況によって広い意味を表すことばであり、「やさしい日本語」では状況に合わせて具体的な表現にする必要があります。ここでは階段で逃げる場面を想定しました。その場合、「落ち着いて」は「階段をよく見て」に相当すると考えました。
	34	落ち着いて行動してください。	急がないでください。まわりを よく見て 逃げてください。	
	35	慌てず、落ち着いて行動する様ご協力をお願いいたします。	急がないでください。まわりを よく見て 逃げてください。	
	36	落ち着いて身の安全を確保してください。	急がないでください。まわりを よく見て 逃げてください。	
	37	火災発生時には落ち着いて行動することが重要です。	急がないでください。まわりを よく見て 逃げてください。	
	38	安全確保のため係員の指示に従って避難してください。	あぶないです。「〇〇の人」が言うことを よく聞いて 逃げてください。	
	39	混雑による事故防止のため、係員の整理誘導に従ってお進みください。	人が たくさんいます。あぶないです。「〇〇の人」が言うことを よく聞いて 逃げてください。	
	40	大変混雑しています。ゆっくり進んでください。	人が たくさんいます。あぶないです。ゆっくり 歩いてください。	
	41	逃げてください。	逃げてください。	
	42	急いで避難してください。	すぐ 逃げてください。	
	43	大至急避難してください。	すぐ 逃げてください。	
	44	すぐに外に出てください。	すぐ 外へ 出てください。	
	45	急いでください。	急いでください。	
46	走ってください。	走ってください。		
47	前に続いて順序良く避難してください。	前の人を 押さないでください。ゆっくり 歩いてください。		
48	順番を守ってください。	前の人を 押さないでください。ゆっくり 歩いてください。		

「火災発生時の例文」の「やさしい日本語」表現（弘前大学社会言語学研究室・「やさしい日本語」研究会）【参考資料3】

2018年2月

場面	No.	例文	「やさしい日本語」	備考
避難時	49	みなさん、こちらに集まってください。	みなさん、集まってください。ここに 来てください。	
	50	散らばらずに、まとまって行動してください。	みなさん、集まってください。一緒に 逃げてください。	
	51	一列にお並びください。	ここに 並んで下さい。	
	52	皆さんを一時避難所へ誘導します。	私と 一緒に 来てください。安全な ところへ 行きます。	
	53	館外に避難してください。	建物の 外へ 逃げてください。	
	54	合図をしている者の方向に避難してください。	あの人の ところへ 行ってください。	
	55	赤いライトを振っている人の方へ避難してください。	あの人の ところへ 行ってください。赤い 電気の ところへ 行ってください。	
	56	真っ直ぐ進んでください。	まっすぐ 行ってください。	
	57	こちらに避難してください。	こっちへ 来てください。/ ここへ 来てください。/ こっちへ 行ってください。	
	58	あちらに避難してください。	あっちへ 行ってください。/ あそこへ 行ってください。	
	59	私について来てください。	私と 一緒に 来てください。	
	60	こちらの係員が避難誘導いたします。	この人と 一緒に 行ってください。/ この人が言うことを よく聞いてください。	
	61	一緒についてきてください。	私と 一緒に 来てください。	
	62	一緒に行動してください。	私と 一緒に 来てください。	
	63	こちらの誘導に従ってください。	この人が 言うことを よく聞いてください。/ 私が 言うことを よく聞いてください。	
	64	指示に従ってください。	「〇〇の人」が言うことを 聞いてください。	
	65	ご協力ありがとうございます。	ありがとうございます。	
	66	しばらくお待ちください。	少し待ってください。	
	67	そのままお待ちください。	少し待ってください。そこに いてください。	
	68	指示があるまで、この場から動かないでください。	少し待ってください。ここに いてください。	
	69	案内があるまで、その場を立ち上らず、お待ちください。	少し待ってください。ここに いてください。	
	70	ここでお待ちください。	ここで 待ってください。	
	71	準備ができるまで、しばらくお待ちください。	少し待ってください。〇〇を 準備しています。	
	72	案内があるまで、この場でお待ちください。	少し待ってください。ここに いてください。	
	73	次の放送までお待ちください。	次の 放送を 待ってください。/ 次の お知らせを 待ってください。	
	74	並んでお待ちください。	並んでください。少し待ってください。	
75	事故防止のため皆さんを順番に案内しています。	人が たくさんいますから あぶないです。少し待ってください。		
76	混み合っておりますのでお待ちください。	人が たくさんいますから あぶないです。少し待ってください。		

「火災発生時の例文」の「やさしい日本語」表現（弘前大学社会言語学研究室・「やさしい日本語」研究会）【参考資料3】

2018年2月

場面	No.	例文	「やさしい日本語」	備考
避難時	77	ただいま安全確認中です。	今 安全か 調べています。	
	78	エレベーターは使用しないでください。	エレベーターに 乗らないでください。	「使用する」は、場合によっては「使う」に言い換えませんが、ここではより具体的な動作を表す動詞の「乗る」を使った方がわかりやすいです。「～できません」は禁止を婉曲に表現するために使うことがあります。が、「やさしい日本語」では直接的な禁止表現の「～しないでください」を使います。
	79	エレベーターは使用できません。	エレベーターに 乗らないでください。	
	80	エスカレーターは使用しないでください。	エスカレーターに 乗らないでください。	
	81	エスカレーターは使用できません。	エスカレーターに 乗らないでください。	
	82	押さないでください。	押さないでください。	
	83	事故の原因となります。前の方を押さないでください。	あぶないです。前の 人を 押さないでください。	
	84	混雑の原因となります。立ち止まらないでください。	あぶないです。止まらないでください。	
	85	走らないでください。	走らないでください。	
	86	館内へ戻らないでください。	建物に 入らないでください。	
	87	危険です。	あぶないです。	
	88	こちらは危険です。	こっちは あぶないです。／ここは あぶないです。	
	89	そちらは危険です。	そっちは あぶないです。／そこは あぶないです。	
	90	ここから入らないでください。	ここに 入らないでください。／この入り口から 入らないでください。	
	91	ここは立ち入り禁止です。	ここに 入らないでください。	
	92	そこに入らないでください。	そこに 入らないでください。	
	93	こちらの場所では安全確保のためお客様の立入を禁止しています。	ここは あぶないです。入らないでください。	
	94	緊急避難路には立ち入らないでください。移動をお願いします。	そこに 入らないでください。そこから 出てください。	「緊急避難路」を「やさしい日本語」で表現することは難しいため、表現していません。
	95	線路内には決して入らないでください。	電車のみちを 歩かないでください。電車が きたら あぶないです。	
	96	安全が確認されるまで閉鎖しております。	ここはあぶないです。入らないでください。	
	97	危ないので、近づかないでください。	ここは あぶないです。近くへ 行かないでください。	
	98	危ないので、そこから離れてください。	ここは あぶないです。そこから 出てください。	
	99	すぐにそこから離れてください。	そこは あぶないです。そこから 出てください。	
	100	この先は行き止まりです。	ここは 通ることができません。ここから 前へ 行くことができません。	
101	手荷物は持たないでください。	荷物を 持たないでください。		
102	喫煙や火気の使用はやめてください。	あぶないです。タバコを 吸わないでください。火を つけないでください。		
103	静かにしてください。	静かにしてください。		
104	車いすの方はこちらに避難してください。	車いすの人は ここに 来てください。		

「火災発生時の例文」の「やさしい日本語」表現（弘前大学社会言語学研究室・「やさしい日本語」研究会）【参考資料3】

2018年2月

場面	No.	例文	「やさしい日本語」	備考
避難時	105	けがをされた方、車いすの方、小さなお子様、ご年配の方から避難誘導します。	けがをした人、車いすの人、子ども、おじいさん、おばあさんが先に 逃げます。ほかの人は 少し 待ってください。	
	106	お近くの係員に知らせてください。	近くにいる「〇〇の人」に 教えてください。	
	107	怪我をしている方は近くの係員に話してください。	けがをした人は「〇〇の人」に 教えてください。	
	108	負傷者はいますか。	けがをした人は いますか。ケガをした人は「〇〇の人」に 教えてください。	
	109	どこを怪我されていますか。	どこが 痛いですか。／けがは どこですか。	
	110	どこか痛いところがありますか。	どこが 痛いですか。	
	111	気分が悪い方はいますか。	気分が 悪い人は いますか。	
	112	大丈夫ですか。	大丈夫ですか。	
	113	今助けます。そのまま待っていてください。	すぐ 助けます。少し 待ってください。	
	114	助けを呼んできます。待っていてください。	助ける人が 来ます。少し待ってください。	
	115	すぐに助けが来ます。もう少し我慢してください。	助ける人が 来ます。少し待ってください。	
	116	あきらめないで、がんばってください。	がんばってください。	
	117	ストレッチャーが通ります。	あぶないです。そこにいないでください。	行動指示の内容を具体的に示すようにしてください。
	118	道を開けてください。	あぶないです。そこにいないでください。	
	119	周りの人にお声掛けください。	近くの人に「大丈夫ですか」と 聞いてください。	行動指示の内容を具体的に示すようにしてください。
	120	まずは周りの安全を確保しましょう。	あなたのいるところが 安全か よく見てください。	行動指示の内容を具体的に示すようにしてください。 意味範囲が広すぎて「やさしい日本語」で表現できません。
121	わからない場合は周りの人と一緒に避難しましょう。	近くの人と 一緒に 逃げてください。		
122	ここは安全ですので、落ち着いて行動してください。	ここは 安全です。		
123	非常電源に切り替わります。	これから電気が消えます。すぐつきます。安心してください。	非常電源に切り替えることで停電状態が解消されるのであれば、「これから 電気が つきます。」	
124	大丈夫です。安心してください。	大丈夫です。安心してください。		

「火災発生時の例文」の「やさしい日本語」表現（弘前大学社会言語学研究室・「やさしい日本語」研究会）【参考資料3】

2018年2月

場面	No.	例文	「やさしい日本語」	備考
避難完了時	125	安全が確認されるまで、そのまま待機してください。	安全か 調べています。少し待ってください。	
	126	安全が確認できました。	ここは 安全です。安心してください。	
	127	避難の必要はありません。	ここは 安全です。逃げなくてもいいです。	
	128	ご安心ください。	安心してください。	
	129	安全確認のため、ターミナルは閉鎖中です。	安全か 調べています。空港に 入ることは できません。	
	130	安全が確認できましたので、運転を再開いたします。	安全だと わかりました。これから ○○が 動きます。	「○○」には状況によって「電車」「バス」が入ります。
	131	怪我をされた方、もしくは気分が悪くなられた方は、お知らせください。	けがをした人は「○○の人」に 言ってください。気分が 悪い人は「○○の人」に 言ってください。	
	132	逃げ遅れた人はいませんか。	みんな 逃げましたか。みんな ここに いますか。いなかったら「○○の人」に 言ってください。	No.132以降は火事の場면을想定しました。
その他	133	火災は鎮火しました。ご安心ください。	火事は消えました。安心してください。	
	134	さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	火事の ベルは 間違いでした。火事ではありません。安心して ください。	「ご～ください」(尊敬語)は使いません。
	135	これは訓練ではありません。	ほんとうの 火事です。練習ではありません。	
	136	これはテスト放送です。	これは 練習です。ほんとうの 火事ではありません。	
	137	これは訓練です。	これは 練習です。ほんとうの 火事ではありません。	
	138	これより、避難訓練を開始いたします。	今から 逃げる 練習をします。	場面設定を明確にして、「今から火事の時の練習をします。」「今から地震の時の練習をします。」のようにした方がわかりやすくなります。
	139	ただいま訓練中です。	今 火事から 逃げる 練習をしています。ほんとうの 火事では ありません。	
	140	気分が悪くなった人は、無理をせず、訓練を中止してください。	気分が 悪い人は 近くの人に 言ってください。気分が 悪い人は 休んでください。	
141	皆様のご協力、ご理解の程よろしくお願い致します。	みなさん 一緒に 練習してください。お願いします。		
142	訓練は終了しました。	練習は 終わりました。		

注)元の文(例文)を組み合わせることで複数の文によって構成される一続きの文章(A)を作成した時に、それぞれの文に対応する「やさしい日本語」の文を組み合わせれば(A)に対応する「やさしい日本語」の文章ができるわけではありません。